

経営比較分析表（平成28年度決算）

滋賀県 豊郷町

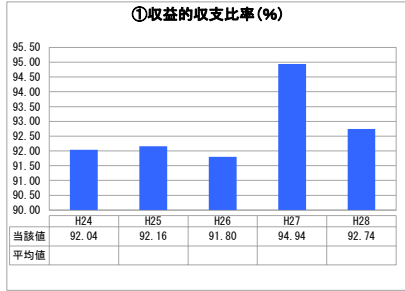
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	99.97	84.82	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,389	7.80	947.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,375	3.69	1,998.64

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



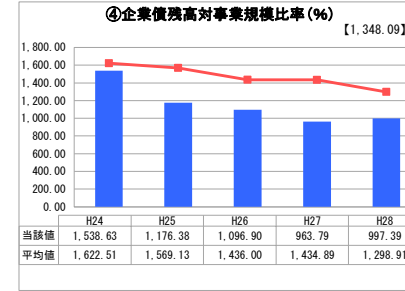
「単年度の収支」



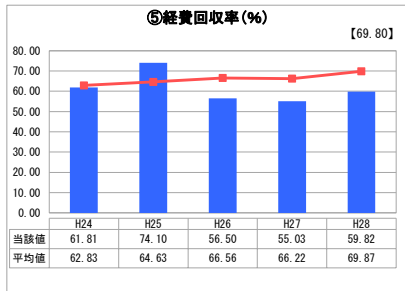
「累積欠損」



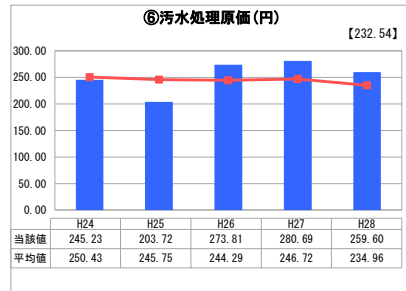
「支払能力」



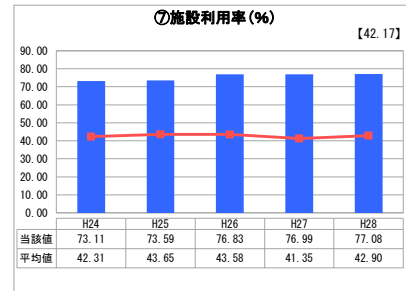
「債務残高」



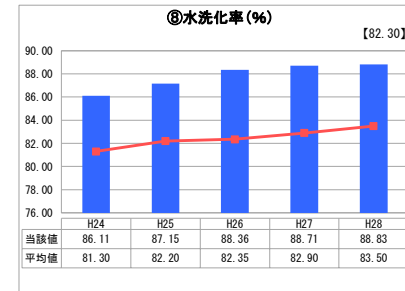
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

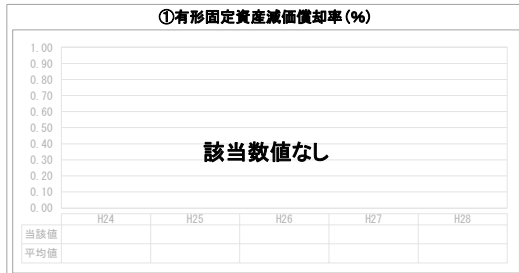


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

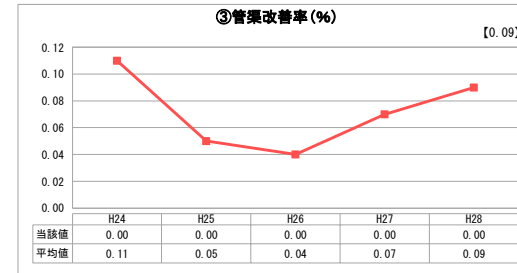
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支は90%台で推移しているが、平成28年度は92.74%と高い値を示してきている一方で経費回収率を見ると50~60%台で平均値より低く、まだまだ一般会計からの繰り入れに頼っている状況を示しています。

経費回収率と汚水処理原価については微弱ながらも改善傾向にあることから、引き続き維持管理費用の削減はもとより使用料の改定等についても検討していく。

施設利用率は平均値に比べ高い水準で推移しているが、処理能力に若干の余裕があり、より一層の接続率の率の向上を図り効率的に施設運営を実施することが必要である。

企業債残高対事業規模比率は、これまで繰上償還を積極に行ってきたことから減少しているが、今後の耐震化事業等に伴う起債の借入が予想されることから注視する必要がある。

2. 老朽化の状況について

本町の管渠は、平成3年度以降に布設を開始したことから法定耐用年数を経過している管渠はない。しかし、マンホールポンプを4箇所所有していることから電気設備の整備が必要となる。長寿命化の観点から設備更新を平準化するなど計画的に進める必要があるが、今後はストックマネジメントにより実施していく予定である。併せて経年劣化に備えた更新計画を策定する必要がある。

全体総括

経費回収率を向上させるため、経費の見直し及び使用料の見直しを実施することや更新時期となる設備の平準化等の対策を検討する必要がある。

また、使用料以外の収入に依存していることが顕著であり、これまでに整備した下水道施設(マンホール)施設を含む)の更新・維持管理に多額の費用を要することから、今後の人口減少等による使用料の減少等を踏まえ、長期的な計画と経営を見直されており、平成28年度に策定した経営戦略を見直しながら接続促進活動を継続して実施し、水洗化率の向上に務める。

さらに平成32年度には法適用企業に移行する予定であり、資産の状況についてより詳細な分析が可能となることから各種指標を組み合わせた分析を行った経営が可能となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。